

総務文教常任委員会活動レポート

開催日：令和6年2月2日(金)

開催場所：1・2号委員会室

総 務 部

1. 防災について

災害対策基本法の規定に基づき、町の地域防災計画を策定していますが、今回の改訂は、法令の改正や国・道の最近の計画等との整合性を図り、近年の災害発生状況などの内容を踏まえた計画改訂となり、膨大な計画書の中から改訂された部分の説明を受けました。

委員からは、「町職員の役割や業務の内容」「全町的な訓練の方法や周知」「防災リーダーの活用」「避難指示の周知でFMはなの利用」「大規模地震等の後方支援としての中標津町の役割と自衛隊の協力体制」「高齢者への対応」など、たくさんの意見・質問・提言が出されました。

2. 北方領土対策について

なかしべつ冬まつりでの署名活動（総務文教常任委員会も参加）、パネル展、2月7日「北方領土の日」根室管内住民大会・全国大会の計画と、1月11日に行われた管内高校生による各市町の中心街での署名活動の報告を受けました。

3. ふるさと応援制度推進事業について

中間事業者の切替で効果が期待されましたが、レビュー機能を有したポータルサイトの返礼品レビューがリセットされたことによる影響が大きく、1億349万円と前年を少し割り込む結果が報告されました。また、ふるさと応援大使に中標津町出身で270万人ものチャンネル登録者がいるYouTuberの「ぎし」、山岸稜大さんを委嘱したことも報告され、今後に期待されます。

委員からは、近隣自治体との商品コラボや新商品開発時のモニター試食会開催など喜ばれる商品に対する提言もありました。

4. その他

(1) 会計年度任用職員に対する勤勉手当の支給について

地方自治法の一部改正に伴い、当町の会計年度任用職員に令和6年度より勤勉手当支給のため条例改正を行う予定との報告を受けました。

(2) 中標津町まち・ひと・しごと創生総合戦略について

「第2期同総合戦略」は「第7期中標津町総合計画」の基本目標を踏まえ、人口減少に対応するための重点的な施策を取りまとめた計画書で、令和4年に策定しています。本戦略は、令和4年3月～同8年3月までの計画期間で、令和42年時点の人口目標15,412人の達成に向けて取り組む施策をまとめている説明を受け了承しました。

(3) また、全国町村会総合賠償補償保険が適用された案件について報告を受けました。

教育委員会

1. 中標津町文化財保存活用地域計画の文化庁認定について

計画は令和6年から10年間で「歴史文化の特性」「文化財の保存・活用」「重点施策中標津「標」しるべつなぎ構想」などを柱にした計画が認定されたと説明を受けました。

また、郷土資料収蔵庫の建設整備スケジュールについても報告されました。

2. その他

(1) 主権者教育について

主権者教育の進め方等、委員会で検討した案を部局へ提案し、教育長からは「すでに実施されていることもあります。今後、計画を進めていきたい」との話がありました。

(2) 教員の消耗品費負担について

【主な質疑】

委員：小・中学校教員の教材準備や学級運営に要する消耗品費の予算の配分は各学校ばらばらのようですが実態はどうですか。

担当：各校に聞き取り調査の結果、6校中5校は満足しているとの回答でしたが、1校で不足があるとの結果でした。また、1000円～5000円程度の個人負担があったと3校から報告がありました。教材に当たるかの判別が難しい物品であったり、申請が面倒、事務用品の請求の仕方が解らなかつたりの理由のようですが、各学校に消耗品費として配分しているので、徹底を図ります。

(3) 別海高校の甲子園出場について

【主な質疑】

委員：別海高校の甲子園出場について、中標津出身の選手もいることから、SNSを活用するなどして応援メッセージを発信してはどうですか。

担当：町長の指示で出場が決定した際、別海町へ祝電を送り、選手の出身校内に横断幕を設置しています。町長の出演するラジオ番組でも触れる予定です。

(4) この他、当委員会から要請した「次世代地域産業人材育成刷新事業」国や道から助成措置のあるマイスター・ハイスクールについて調査結果報告を受け、継続調査をしていくことにしました。